



テクノロジーを追い風に、プラットフォームで舵を切る

JRTT 技術支援セミナーご参加の皆様向け

海事産業向けプラットフォーム Aidea【アイシア】

内航海運を取り巻くDXの課題と解決策

内航海運を取り巻くDXの課題と解決策

Agenda

01 会社案内 わたしたちAideaについて

02 DX事例 働き方改革を推進するDX

03 DXの本質 DXを支えるプラットフォーム



Agenda 01

会社案内

わたしたちAideaについて



Aidea 会社概要

会社名	アイディア株式会社 Aidea Inc.
代表	下川部 知洋
創業	2018年 1月
従業員	35名（派遣・業務委託含む）
事業内容	海事産業プラットフォーム「Aisea」の研究開発と提供
資本金	1億円
株主	下川部 知洋、東京海上日動、今治造船、みずほキャピタル、NVCC、SPARX



世界の海をデータでつなぎ、より良い未来をデザインする

【提供サービス】 海事産業プラットフォーム「Aisea」

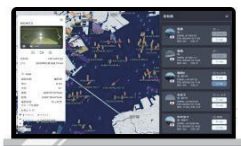
海運会社向けのDX推進サービスはもちろんのこと、メーカーや造船所などのパートナー企業との協業も積極的に取り組んでいます。



海運業向け

Aisea PRO

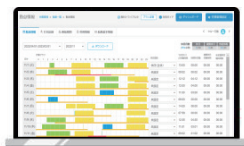
船舶運航管理



海運業向け

Aisea Crew

船員労務管理



造船業・船用工業向け

Aisea Partners

開発用基盤



海洋土木業向け

Aisea Constr.

海上工事管理



国土交通省が管理する
新技術情報提供システム
(NETIS)に登録済み



漁業・個人の向け

Aisea

船舶航行支援アプリ



A i s e a

クラウドベースの海事産業向けプラットフォーム

データ連携

開発環境

主なユーザー

弊社サービスをご利用いただいているお客様の一例です。



アジアパシフィックマリン株式会社

株式会社菅原ジェネラリスト

田淵海運株式会社

松田汽船株式会社

丸三海運株式会社

三菱ケミカル物流株式会社

NX海運株式会社



主なパートナー

共に新製品・新サービスの開発や新たなビジネスモデルの構築している企業様の一例です。



株式会社赤阪鐵工所

今治造船株式会社

川崎重工業株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

東京計器株式会社

一般財団法人日本気象協会

三菱造船株式会社



東京海上日動



日本気象協会



Agenda 02

DX事例

働き方改革を推進するDX



さまざまな書類の作成



電話・メール・FAXによる各種業務連絡



船員さんが昔から変わらないと思う

2大アナ

ログ業務

電話・メール・FAXに
よる各種業務連絡



重複入力の確認、
入力、管理



陸上管理者さんが昔から変わらないと思う

2大アナログ業務



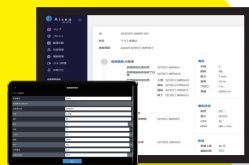


業務の電子化による 働き方改革の推進

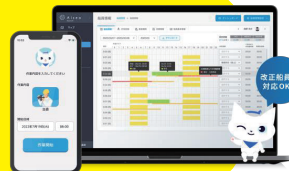


操作も簡単で直ちに変化を実感する 電子化で業務改革

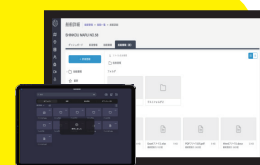
動
静
連
絡



労
務
管
理



書
類
管
理



船
上
も
ど
も



陸
上
も
ど
も

船員さんも、陸上管理者さんも 誰にでもわかりやすい 直感的に使える デザイン

チェック
ポイント
Checkpoint



**これだけで
DXが終わったと
思っていないませんか？**

アイディアが考えるDX

DXの目的 II 経営課題の解決



業務の電子化はあくまで手段



経営課題

環境対応



働き方改革



安全性向上



DXのゴール

＝

生産性向上、

船員の業務負荷削減



私たちが提案する

全工程または一部工程を自動化し、大幅な業務削減の実現

DX = 業務の自動化



確かに便利だけど…
そんなこと可能なの？



Agenda 03

DXの本質

DXを支えるプラットフォーム



よくあるDXの課題

各部署が各業務に応じて個別に最適なシステムを導入しているので
部署をまたいだデータ連携が取れない

営業（運航管理）

動静連絡と配船計画をデジタル化したい。



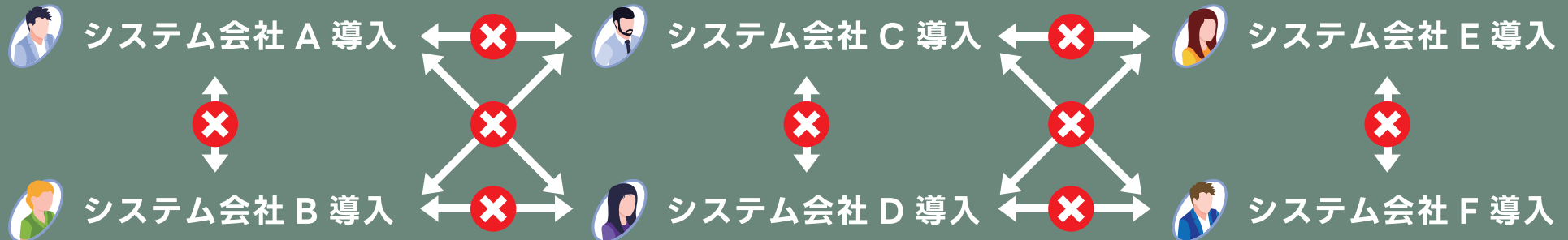
海務（安全・船員管理）

船上カメラで安全管理強化と労務管理のDXがしたい。



工務管理

整備計画と予備品管理を電子化して共有したい。



課題

1

各現場の目的のみに適したデジタル化が進んでいる

- ・ 業務を横断したデータ活用が困難
- ・ 重複入力、管理の削減に繋がらない

課題

2

複数のシステムが混在している

- ・ 無駄なコストと時間が発生している
- ・ 機能拡張がしにくい

課題

3

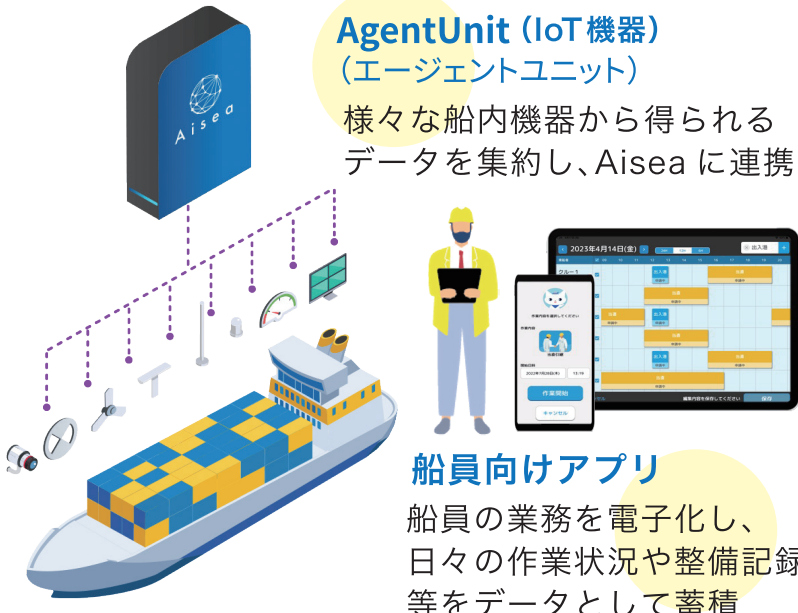
現場目線の提案しか受けられない

- ・ 会社全体のビジョンや経営課題に沿ったDXの提案が受けられない

**各部署がバラバラにDXをおこなうと
会社全体でのシナジーにつながらず、
費用対効果の生まれづらい構造になってしまう**

海上の「あったらいいな」を可能にする Aisea

船内システム



**AgentUnit (IoT機器)
(エージェントユニット)**
様々な船内機器から得られるデータを集約し、Aisea に連携

船員向けアプリ
船員の業務を電子化し、日々の作業状況や整備記録等をデータとして蓄積

あらゆる船上データを集約

AIS 	GPS 	レーダー 
カメラ 	機関部 	各種センサー 



集約したデータを
保管・加工・提供

陸上用管理システム



労務管理記録簿



アブログ

配船表

燃料消費量レポート

etc...

パートナーシステムとの柔軟なデータ連携

 気象海象	 メンテナンス	 給与計算	 収支管理
---	---	---	---

ユーザーにもパートナーにも メリットと可能性を広げるプラットフォーム

01



02



柔軟性・拡張性に優れたプラットフォームの実用例

01：共同開発機能の実用例

AIS



燃料消費量



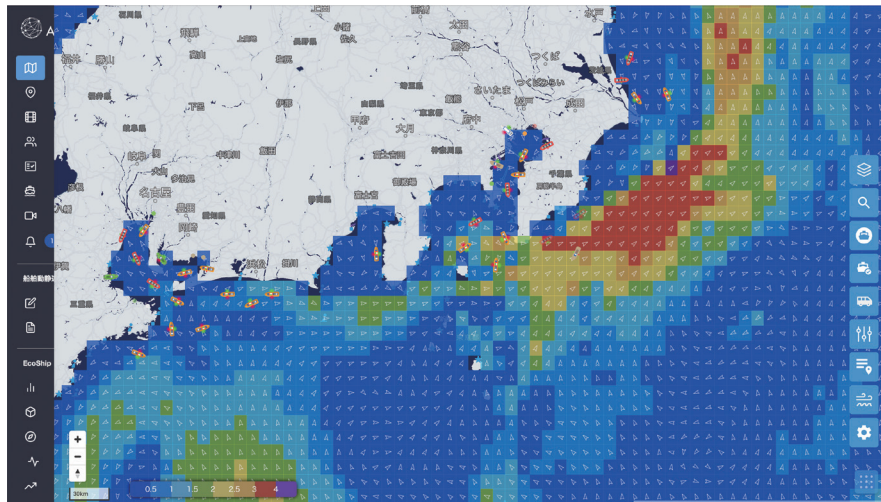
気象海象



最適航路



Aidea



日本気象協会様のPOLARIS NavigationをAidea上で利用可能に。AideaのAISデータ、燃料消費量データを組み合わせて、船長の計画航路、POLARIS推奨航路、実績航路を比較し、最適航路の分析・評価をサポート。

Aiseaが可能にするDXの解決策

ひとつの機能に特化せず、さまざまな機器やシステムとのデータ連携ができる柔軟性と、どんどん機能を追加実装できる拡張性が特徴！

営業(運航管理)

動静連絡と配船計画をデジタル化したい。



海務(安全・船員管理)

船上カメラで安全管理強化と労務管理のDXがしたい。



工務管理

整備計画と予備品管理を電子化して共有したい。



動静連絡



動静連動カメラ



整備計画



配船計画



労務管理



予備品管理



Aisea導入のメリット

merit

1

すべての部署でデータ連動が可能になり
会社全体でシナジーが生まれる

merit

2

すでにお使いのシステムや、
各メーカー様の機器と**柔軟に連携**

merit

3

統一システムで、**時間とコストを最小限**に。
機能拡張も簡単におこなえる

merit

4

DXのプロのコンサルティングが
会社全体のビジョンや経営課題に沿って提案

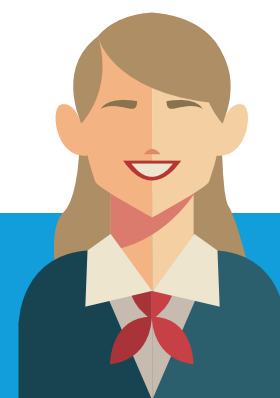
お客様やパートナーさんからよくいただくご相談の一例です。

お客様からの相談例

- 01 将来的な環境対応に備え、データ分析体制を構築したい
- 02 船陸間のアナログ業務を廃止し、働き方改革を推進したい
- 03 運航船の状況を可視化し、安全管理体制を強化したい
- 04 会社全体でDXを進めていきたいけど、
どうマイルストーンを設定すれば良いかわからない

パートナーさんからの相談例

- 01 自社製品のデータのみだと付加価値が出せないの、
他社のデータとも連携したい
- 02 技術はあるけど、ソフトウェア開発の知見がないため、
アプリやシステムを作れない
- 03 お客様からシステムが使いづらいと言われているけど、
UX/UIの知見がないため改善できない



各プレイヤーの技術や知見を組み合わせ
内航海運業界全体でDXを推進しましょう！

お問合せは
QR または
メールから



✉ info@aidea.biz